

# ほけんだより

子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業のお知らせ

任意予防接種として平成23年3月から実施している下記ワクチン接種事業を国の通知により、平成24年度も実施することになりました。対象者の保護者が接種を希望された場合は、公費負担で接種ができます。接種の際は、予防接種の効果・副反応について理解した上で、接種間隔を守って接種してください。



## 子宮頸がん予防ワクチン

1回目に接種したワクチンを3回接種してください。異なるワクチンを接種した場合は、公費負担の対象となりません。

〈サーバリックスの接種間隔〉1回目接種から、1ヵ月後、6ヵ月後に接種。  
 〈ガータシルの接種間隔〉1回目接種から、2ヵ月後、6ヵ月後に接種。

対象者	生年月日	接種期間
高校2年生の年齢相当	平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ (平成24年3月31日までに1回以上接種した方のみ)	平成25年3月31日まで
中学1年生～高校1年生の年齢相当	平成8年4月2日～平成12年4月1日生まれ	

## ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン

【対象者】 生後2ヵ月～5歳未満（5歳の誕生日の前々日まで）  
 ※接種開始月齢で接種回数異なります。

	生後2ヵ月以上7ヵ月未満	生後7ヵ月以上12ヵ月未満	1歳以上2歳未満	2歳以上5歳未満	接種期間
小児用肺炎球菌ワクチン	初回3回 (27日以上の間隔で接種) 追加1回 (3回目接種後60日以上の間隔で接種)	初回2回 (27日以上の間隔で接種) 追加1回 (2回目接種後60日以上の間隔で接種)	2回 (60日以上の間隔で接種)	1回	平成25年3月31日まで
ヒブワクチン	初回3回 (4～8週の間隔で接種) 追加1回 (3回目の接種からおおむね1年の間隔で接種)	初回2回 (4～8週の間隔で接種) 追加1回 (2回目の接種からおおむね1年の間隔で接種)	1回		

( )内は接種間隔です。接種間隔を守って接種しましょう。

## 町内実施医療機関

事前に医療機関にお問い合わせください。  
 ※町外の医療機関で接種をされる方はお問い合わせください。

医療機関名	電話番号	子宮頸がん予防ワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン	ヒブワクチン
いりえ小児科医院	932-9600	○要予約	○	○
うみ小児科医院	410-8766	○要予約	○要予約	○要予約
おかべ小児科クリニック	933-7161	○要予約	○	○
岡部病院	932-0025	○要予約	○要予約	○要予約
おがわクリニック	933-0758	○要予約	×	×
神武医院	932-0188	○要予約	○	○
中西内科クリニック	934-0703	○要予約	×	×
山崎産婦人科小児科医院	933-8000	○要予約	○	○

※「○」は接種可

(24年3月1日現在)

ほけんだよりでは、皆様の健康を応援するため、予防接種などの情報を毎月お届けしていきます。  
 【問い合わせ】健康づくり推進室 TEL933-0777



来年少学1年生、現中学1年生、高校3年生の年齢相当の方が対象です。MR(麻しん風しん)予防接種のお知らせ

平成24年度に定期予防接種としてMRワクチンを1回接種できるのは左記対象者の方です。MR2期対象者は、すでにMRワクチンを1回接種、MR3期・4期対象者は乳幼児期に麻しん1回、風しん1回の接種をされている方も対象です。平成24年度の接種機会を逃すと、定期予防接種として公費負担での接種ができなくなります。

接種期間が1年間と短い間の接種となりますので、接種忘れのないよう早い時期(5月まで)の接種をお勧めいたします。

MR予防接種(麻しん風しん)

接種対象者	接種期間、回数
平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ (平成25年度小学1年生)	平成24年4月1日～平成25年3月31日の間に1回
平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれ (中学1年生)	
平成6年4月1日～平成7年4月1日生まれ (高校3年生の年齢相当)	

4月1日から妊婦健康診査の公費助成対象検査項目が追加されました

【対象】 表紙がオレンジ色の妊婦健康診査補助券をお持ちの方(平成24年3月31日までに交付分)  
 【追加項目】  
 ①性器クラミジア検査  
 妊婦健康診査補助券「7回」に追加  
 ②B群溶血性レンサ球菌(GBS)検査  
 妊婦健康診査補助券「10回」に追加  
 《補助券はそのまま使用できます》

※里帰り出産される方へ  
 4月1日以降に福岡県、大分県、佐賀県以外の都道府県で妊婦健康診査を受診される方は、うみハピネスまでお問い合わせください。

くども療育センター  
 すくすく療育活動の様子  
 (買い物ごっこ)

「すくすく」では、医師、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士など、多様な専門スタッフと支援員等が協力しながら療育活動を行っています。今回は、集団で行う「買い物ごっこ」の様子を紹介します。当センターで行う「買い物ごっこ」は、本

物の野菜や商品に直接触れて野菜の感触、商品の大きさや重さを体感するというねらいもありですが、店員役の職員に挨拶をする、お礼を言う、お金を払い品物を買うことを通して「社会生活の中で必要なマナーを学ぶ」という大きなねらいもあります。テーブルの上には、大根、白菜、人参、じゃがいもなどの野菜や、カレールーやカップ麺などの食品、駄菓子、生活用品など様々な物が並びます。職員から「お財布」と玩具の「お金」をもらい、カゴを持って買い物に行きます。くどもの年齢や一人ひとりの課題に応じて、好きな物を買う、職員や保護者から頼まれた物を買うなど活動内容に変化を持たせています。

センター内での「買い物ごっこ」を体験した後は、実際にお金をもらって近くの商店へ買い物に出かけます。保護者と離れて、職員と一緒に買い物に行き、お店の人のやり取りを体験します。「一人で買い物できた」という経験は自信に繋がります。また一つ大きく成長することが出来る、くども達も大好きな活動の一つです。

くどもさんは色々なことで困りがちです。「すくすく」では、そうしたくどもさんの気持ちに寄り添いながら、手がかりになる情報を得て、支援の充実を目指しています。まずは、御家庭でもくどもさんが「私も出来る」と感じる体験を増やしてあげてみませんか。

【問い合わせ】  
 くども療育センター「すくすく」  
 宇美町貴船2丁目40-2  
 (ハピネス号「すくすく前」下車)  
 TEL934-13933



たくさんの商品を前に買い物体験をしている様子



レジで店員役の職員とのやり取りを体験している様子